

2 (6) 坂井輪中学校の復旧状況

1 被害の状況について

- **南面擁壁** 南側への移動および沈下
- **南校舎** 建物が敷地南側へ移動
建物を支える杭にひび割れや傾きの損傷
- **体育館** 開放玄関・用具庫等の基礎沈下による傾斜

学校活動に使用できない状態

2 復旧の方針について

○ 既存校舎の復旧

地震の被害により使用できない校舎等の復旧工事を行うとともに、仮設校舎を建設し、全ての学年が坂井輪中学校での学校活動の再開を目指す。

○ 校舎の再建（本復旧）

本復旧に向けては、適切な中学校としての機能を取り戻すため、敷地東側（グラウンド側）での全面改築を行う。

さらに、本復旧に向けては、防災機能の充実を土台として、公民館と隣接する立地特性を活かし、生徒と地域住民をはじめとした多世代との直接的なふれあいの場を創出するなど「地域とともにある学校」を目指す。



敷地南側被害状況



仮設校舎建設状況

3 復旧状況について

○ 令和5年度

3年生は新通小学校で対面授業、1, 2年生はオンライン授業を行うなか、令和6年度から全ての生徒の対面授業を実現するため、被害の少なかった北校舎や校舎周辺の復旧工事を行った。

○ 令和6年度

2, 3年生は復旧工事を行った坂井輪中学校で、新1年生は新通小学校で対面授業を再開、さらに令和7年度から全学年が坂井輪中学校で学校生活を再開するため、被害の大きかった南校舎の解体や南面擁壁の改修、仮設校舎の建設に着手した。

あわせて、校舎の全面改築に向けた基本構想に着手し、学校関係者や地域の方などからなる検討会を行いながら、構想の策定を進めている。

		令和5年度			令和6年度												令和7年度～	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
教育活動	1年生	オンライン授業			新通小学校												坂井輪中学校	
	2年生	新通小学校			坂井輪中学校												坂井輪中学校	
	3年生	新通小学校			坂井輪中学校												坂井輪中学校	
施設整備	復旧工事	北校舎 応急復旧工事			仮設校舎建設						北校舎 復旧工事			駐車場 駐輪場工事				
	全面改築				南校舎解体工事			南面擁壁改修						西側擁壁改修				
					基本構想												基本・実施設計	

○ 令和7年度以降（予定）

- 令和7年4月 仮設校舎 供用開始
- 令和7年度～令和8年度 改築校舎 基本実施設計
- 令和9年度～令和11年度 改築校舎 建設工事

※令和12年1月 校舎・体育館 供用開始